

法説辻

岩手県曹洞宗布教師会三分間法話

雨でもよい天気

一関市・地藏院住職・大場浩俊

今、皆さんがおられるところの天気は如何でしょう？はれていますか？雲つていますか？それとも雨が降っていますか？

天気が良いと言いますと、普通は太陽が輝き青空が広がった晴れの日を思う人が多いでしょう。逆に、天気が悪いと、曇りや雨の日、雪の日などを思うでしょう。

私の高校時代に、ある晴れた日の授業時間、突然先生が「今日は天気が悪いので、授業しないで散歩に行くぞ」と、公園に行きアイスをご馳走してくれました。その時は「晴れているのに天気が悪いなんて、変わったことを言う先生だな」と思いました。

快晴で眠気をもよおすような気候で、とても授業に集中できるような日ではなかったので、勉強するには悪い天気だったと、あとで先生の気持ちに気づきました。

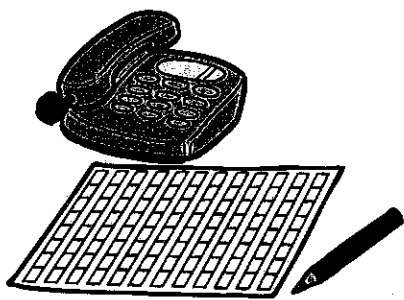
干ばつの時は雨を願い、雨続きの時は晴れを願い、同じ天気でも人間が自分の都合の良いように勝手に良い天気、悪い天気と決め付けているのです。

天気自体には良い悪いはありません。天気だけではありません。自分に対して都合のいい人は良い人で、そうでない人は悪い人と決め付けていませんか？

自分の都合の良い尺度や、先入観で人を判断するのではなく、お釈迦様が教

えられた「菩提心」すなわち「まごころ」を持ち人に接すれば悪い人はいなくなります。

自分の都合だけで物事を判断することなく暮らせば、どんな天気でも毎日が良き日であり、まごころを持ち暮らせば誰とでも良き友人となれることでしょう。



曹洞宗岩手県宗務所

テレホン法話

☎0120-62-1602



心に残る
法話を
お聞き
下さい